

〈法学会記事〉

一 昭和五三年度法学会総会

今年度の法学会総会が、去る一月二日(土)、琵琶湖々上で、観光船「はり丸」をチャーターして開催された。当日は、夜来の雨で出足が心配されたが、午前九時受付開始頃には小雨となり、一〇時には殆ど乗船を終了し、一〇時一六分、学生会員一九二名評議員二二名の参加を得て、雨あがりの紅葉の山並みを眺めつつ湖上を一路竹生島へと向って浜大津港を出航した。

船上では、午前一〇時三〇分より総会が開かれ、間評議員の司会の下、原前会長の開会の辞、本浪会長の会長挨拶に続いて、岸井評議員から事業報告、岩本評議員から会計報告があり、次いで明石評議員から公認会計士による監査報告が紹介され、竹本評議員の閉会の辞があつて恙なく総会は終了した。しかし、若干の時間的余裕が生じたので、評議員(教員会員)紹介と法学会の事務担当の中村さんの紹介がなごやかな雰囲気の内に行われた。

総会終了後、懇親会・昼食に移り、それぞれの船室でビール・ジュースを飲みまたは昼食をとりながら、あるいは外の景色を眺めつつ会員同士の懇談に時を過した。

午後〇時四〇分竹生島に上陸。樹木の生い茂る中かなり高い

石段を登って、都久天須磨神社や宝蔵寺を拝観、願いごとを書いたかわらけ投げに興じたりして約一時間を過した。帰路は、船中で福引大会が催され、一等三〇〇〇円の図書券をはじめとする多数の景品に一喜一憂したり、間教授の司会するのど自慢大会などを楽しみながら、途中琵琶湖大橋を下から眺めたり、比良の山並や湖岸の景色を賞でつつ時を忘れ、親睦をはかりつつ午後四時小雨降る浜大津に無事帰港した。

今回は、参加人員が当初の予想をやや下回ったが、聴講生で法学会々員になつて参加する人があつたり、前回(昭和五一年)一・二年生で参加した学生会員が今回も多く参加するなどの特徴もみられ、会員同士の親睦、ことに学生会員と教員会員との交流の場を提供することになり、さながら一大合同コンパの観を呈して、盛會裡に終了した。

二 私法・公法・政治合同研究会

〈日時〉 昭和五三年一月一日(水) 午後二時四〇分

〈場所〉 法学会室

〈報告〉 「文化革命と現代中国」

——訪中報告——(スライド使用) 奥村郁三氏

〈出席者〉 (五〇音順)

石尾、市川、上田、岡、岸井、栗田(隆)、千藤、千々和、永田、間、原、眞鍋、山野、各氏。